

2021年度事業実施報告

2021年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受け、オンラインを活用した1年間となりました。

定時社員総会は2年連続書面決議で行いました。全道ろうあ者夏季体育大会は中止となりました。

全国規模の各種大会も同じように2年連続中止やオンライン配信となりました。

オンラインを活用して開催したのは、全道ろうあ者大会、全国ブロック代表者会議、北海道ろうあ連盟合同研修会、道内加盟協会事務局長連絡会議、スポーツ・教育・労働等の各研修会、各会議などです。

連盟理事会は、感染症対策をとって対面(一部オンライン)で行いました。

全道ろうあ者大会は、北海道ろうあ連盟が主体となり、大会式典の内容をシンプルにし、講演会等は事前収録、講師からの生配信とし、加盟協会ごとに視聴会場を確保、オンライン機器を接続、それぞれの会場に参集する形で大会を開催・視聴することができました。

かでの2.7の情報センターを活用することによって全道的に中継することができました。

感染症が収束した後も会員が安心して、距離、時間、経済的な負担なく参加しやすくなるようにオンライン環境を作っていくしたいと思います。

そして、道内の協会、全国の協会仲間といつでも、どこでも、つながれるようにオンライン学習会を開催して、デジタル機器や電話リレーサービス等が使いこなせるように取り組んでいきます。

事業面では公益事業に大きな影響はないものの収益事業は前年度の半分ほど落ち込みましたが、支出を抑えたため大きな赤字にはなりませんでした。

法人運営の安定を計るため北海道に限定した出版・映像(DVD)の自主作成に力を入れていくことが課題になります。

8月3日(火)に、北海道議会の各会派による「手話を広める北海道議会議員連盟」設立総会が道議会にて行われました。

出席した道議員の皆さんに簡単な手話講座を連盟が、「手話言語法の制定に向けて」を北海道保健福祉部担当者が説明をしました。

全ての議員会派と共に手話言語を広める勉強会を行うことはこれまでにない画期的なものであり、手話言語を広める政策や手話言語法を国に求めていくように北海道ろうあ連盟と共に運動していきたいと思います。

詳細な報告は、各事業の報告に委ねます。

- 聴覚障害者のコミュニケーションを支援するため手話通訳事業
- 手話通訳者・手話通訳士の養成事業
- 手話の普及事業
- 聴覚障害者に対する相談支援事業
- 聴覚障害の文化・スポーツ啓蒙事業
- 手話・出版事業

【公益目的事業】

意思疎通支援に関する事業

■手話通訳者等の設置・派遣

聴覚障害者のコミュニケーションを支援するため、手話通訳者を設置・派遣した。

◎派遣センター事業

- (1) 手話通訳者設置事業（北海道補助事業）
- (2) コミュニケーション支援事業（市町村委託事業）
- (3) 手話通訳者派遣事業（一部北海道委託事業） を行っています。

今年度の派遣状況は1,004件1,228人。コロナ禍で減った2020年度に比較すると例年並みに戻りつつあります。

全体の派遣比率は市町村支援に関する内容が73%を占めています。

派遣分野では、医療が64%近くを占めています。介護支援なども増えています。

派遣を担っている登録通訳者の推移は少しずつ増えているものの地元推薦者（資格なし）も少なからずいます。日中活動できる人も限られているため、設置通訳者が出ることも多い地域があります。

【手話通訳派遣実績】

	2019年	2020年	2021年
派遣件数	1,061	796	1,004
派遣人数	1,528	966	1,228

【地域（振興局）通訳派遣人数】

情セ	83	檜山	77	上川	62	オホーツク	134	十勝	92
石狩	238	後志	75	留萌	43	胆振	30	釧路	56
渡島	45	空知	88	宗谷	64	日高	110	根室	32

2021年度の北海道ろうあ連盟
北海道手話通訳派遣センター登録手話通訳者：391名の概要

【性別構成】

男性	41名	女性	350名
----	-----	----	------

【地域（振興局）構成】

(単位:名)

石狩	112	後志	26	留萌	5	胆振	40	釧路	21
渡島	27	空知	34	宗谷	8	日高	6	根室	11
檜山	4	上川	47	オホーツク	18	十勝	32		

【資格構成】

(単位:名)

手話通訳士	86	88	北ろう連上級	2	北ろう連1級	8
全国統一試験	182	169	北ろう連中級	3	北ろう連2級	38
全日ろう連認定	2	2	北ろう連初級	15	団体推薦	55

【年齢構成】

(単位:名)

20代	20～24	0	2	60代	60～64	83	138
	25～29	2			65～69	55	
30代	30～34	4	13	70代	70～74	21	26
	35～39	9			75～79	5	
40代	40～44	31	77	80代	80～84	0	0
	45～49	46			75～79	0	
50代	50～54	55	135	※平均年齢：56.6歳			
	55～59	80					

2021 年度の内訳は上記の通り、平均年齢は今のところ横ばいであり、地域での養成が急務です。登録者へ向けての研修（技術や理論）は各地域年 3 回行っておりましたが、2021 年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、2 年連続年 1 回となりました。

派遣センター職員は 14 振興局に 1 名ずつ設置通訳者として配置されています。
 来庁者対応や、派遣コーディネーターが主ではありますが、3 チーム(派遣・養成・統計)に分かれています。
 (2021 年度 宗谷・根室・日高振興局は臨時職員が対応)

■ 手話通訳業務区分年間一覧

【手話通訳業務】

区 分	2019 年	2020 年	2021 年
保健・福祉・医療	225	281	246
教育・保育	38	28	17
労 働	36	51	34
人間関係	9	3	6
社会経済・契約・官公庁手続き	128	92	174
スポーツ・文化・教養等	31	9	1
司法・権利等	10	2	0

【手話以外の業務】

区 分	2019 年	2020 年	2021 年
コーディネーターに関すること	1,051	485	643
コーディネーターに関すること(市町村支援)	1,031	1,010	898
自らの通訳事務に関すること	481	454	446
相談支援に関すること	290	243	223
相談支援に関すること(市町村支援)	285	206	193
指導育成に関すること	937	545	452
指導育成に関すること(市町村支援)	47	63	36
会議に関すること	94	69	52
研修(自己研鑽)に関すること	450	371	704
事務(報告等事務)	1,620	1,530	1,803
事務(契約・登録等事務)	166	161	153
そ の 他	186	1,195	1,169

14 振興局の職員は手話通訳派遣に関するコーディネート業務の他、登録員研修（今年は1回）への取り組み、地域協会やサークル、通研との連携等行い、ろうあ者相談員の不在地域では各種相談、電話代行、代筆・代読など生活にかかわる支援も担っている地域もあります。また地域自治体（市町村）とのパイプ役を担い派遣や養成に関してのアドバイスを行い、北海道手話言語条例を道職員に啓蒙する目的で振興局職員を対象に手話学習も実施しています。全職員が札幌に集合し職員研修を例年行って来たが、コロナ感染拡大防止の観点から分散型オンライン研修（札幌・函館・旭川等）を4回開催しました。

【職員研修】

- ・第1回 6月23～24日 オンライン研修（札幌・旭川・函館・釧路）
- ・第2回 10月19～20日 オンライン研修（札幌・旭川・函館・釧路）
- ・第3回 2022年1月18～19日 オンライン研修（札幌・旭川・函館他振興局自席）
- ・第4回 2022年2月24日 オンライン研修（札幌・他振興局自席）

派遣チーム	養成チーム	統計チーム
<ul style="list-style-type: none"> ・全道ろうあ者夏季体育大会・全道ろうあ者大会通訳配置に伴う調整・連絡と事後の振り返り、まとめ等 ・派遣事例の集約と共有・相談等 	<ul style="list-style-type: none"> ・登録通訳者への現任研修の企画立案と事後の振り返り、まとめ等 ・職員対象のスキルアップ研修企画立案と事後の振り返り、まとめ等 ・その他、養成に関する事等 	<ul style="list-style-type: none"> ・手話通訳派遣実績、月間、年間集計精査分析等 ・広域派遣実績精査等 ・月間活動報告書精査等

【知事会見 手話通訳派遣】

北海道知事定例記者会見に手話通訳を派遣

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5	4	3	5	3	4	4	4	3	4	5	3	47

■遠隔手話サービス事業

情報提供施設内にオペレーター（手話通訳者）を配置し、タブレットによる遠隔手話通訳を通じて、聴覚障害者と各市町村役場窓口等における意思疎通支援対応の円滑化を図りました。また、北海道手話通訳問題研究会、北海道手話サークル連絡協議会合同研修会等において、遠隔手話通訳に関わる制度等説明会を開催するなど制度普及に努めた結果、微増ではあるが、遠隔手話サービスを実施する市町村の増加が図られた。

【契約市町】

- 空知(3) ・・・深川市、赤平市、仁木町
 - 石狩(1) ・・・当別町
 - 後志(2) ・・・余市町、仁木町
 - 胆振(2) ・・・白老町、洞爺湖町
 - 日高(1) ・・・新ひだか町
 - 渡島(1) ・・・七飯町
 - 上川(2) ・・・東川町、当麻町
 - 宗谷(1) ・・・稚内市
 - オホーツク(2)・・・網走市、美幌町
 - 十勝(2) ・・・音更町、陸別町
- 計 17 市町 (前年度 11 市町)

【通訳実績】

- 6 町 (余市町・白老町・新ひだか町・当麻町・美幌町・音更町)
- 通訳件数等 12 件 (余市町 1・白老町 1・新ひだか町 1・当麻町 5・美幌町 1・音更町 3)

■電話リレーサービス

2021 年 7 月 1 日～2022 年 3 月 31 日に実施しました。

登録数 (令和 3 年 6 月 1 日より利用登録の受付を開始したため、4～5 月の実績なし)

	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
個 人	2,267	5,621	6,513	7,020	7,437	7,855	8,173
うち手話	1,054	2,590	3,013	3,285	3,513	3,777	3,979
うち文字	1,213	3,031	3,500	3,735	3,924	4,078	4,194
法 人				13	47	78	81
うち手話				11	32	55	58
うち文字				2	15	23	23
合 計	2,267	5,621	6,513	7,033	7,484	7,933	8,254

登録者数 (令和 3 年 6 月 1 日より利用登録の受付を開始したため、4～5 月の実績なし)

	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
個 人	2,267	5,621	6,513	7,020	7,437	7,855	8,173
法 人				13	16	28	30
合 計	2,267	5,621	6,513	7,033	7,453	7,883	8,203

通話件数 (令和 3 年 7 月 1 日よりサービス提供を開始したため、4～6 月の実績なし)

	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
緊急通報発信	28	45	24	43	41	26
発信 (緊急通報以外)	14,860	20,452	20,461	22,855	22,417	24,512
うち手話	6,785	8,954	8,996	10,426	10,436	11,290

うち文字	8,075	11,498	11,465	12,429	11,981	13,222
着信	679	982	1,018	1,104	1,155	1,176
うち手話	420	572	589	590	644	656
うち文字	259	410	429	514	511	520
合計	15,567	21,479	21,503	24,002	23,613	25,714

※「日本財団電話リレーサービス」のホームページより公開データ転載（公開されているのは2021年12月までの全国数データ、北海道のみのデータは公開無し）

■北海道登録要約筆記者

手書き 29名 パソコン 18名 手書き・パソコン 10名 計 57名

※2021年度全国統一要約筆記者認定試験合格者5名を含む。

北海道要約筆記者登録者

区分	登録者数	内 訳		
		手書	PC	手書・PC
札幌市	9	4	3	2
旭川市	10	4	1	5
函館市	1		1	
計	20	8	5	7
石狩	16	11	5	
渡島	2	2		
檜山				
後志				
空知	2	1		1
上川	3	1	1	1
留萌				
宗谷				
オホーツク				
胆振	4	2	2	
日高				
十勝	5	2	3	
釧路	4	1	2	1
根室	1	1		
計	37	21	13	3
合計	57	29	18	10

■北海道登録要約筆記者派遣実績（道派遣）

派遣件数 3件 派遣人数 10名 【内容】全道ろうあ者大会・中失協設立総会等

意思疎通支援者の養成

聴覚障害者のコミュニケーションの人的基盤となる手話通訳者・手話通訳士を養成した。

2014年度よりカリキュラムが改訂となり対応した講師の育成を充実させた。

■手話通訳者養成講座の開催（北海道委託事業）

2021年度報告：（開催地）道内2か所（札幌会場・函館会場）（80講座）

目的：手話通訳者を養成し、聴覚障害者等の福祉の増進に資する

内容：手話通訳者としての専門的な知識・技術の習得

対象：北海道の委託を受けて手話奉仕員養成カリキュラムを修了した者もしくは修了と同等の知識・技量を有すると認められたもの

札幌会場 受講生 13名 修了者 11名（合格者 2名）

函館会場 受講生 11名 修了者 7名（合格者 1名）

統一試験合格者 7名

各自治体における手話通訳者養成講座等受講経費助成事業 一覧表

各自治体における手話通訳者養成講座等受講経費助成事業 一覧表		2022.1.6 現在				
自治体名	助成対象者	助成内容	交付申請	助成申請時期	受付担当課	備考
函館市	函館市の手話通訳者登録員・要約筆記者	交通費	指定席往復割引料金	助成事業登録書	講座終了後	函館市障がい福祉課
	手話通訳者登録員面接試験の意思を有する者		1/2	助成費支給申請書		
室蘭市	これまでに助成金交付を受けてない方	宿泊料	上限あり1/2	道養成講座修了証	講座終了後	室蘭市障がい福祉課
	手話通訳者養成講師			領収書の写し		
登別市	室蘭市の手話協力員又は登録予定者・要約筆記者	予算内であることが前提(1~2名)		交付申請書	講座前申請	登別市障がい福祉グループ
	道養成講座を胆振管外で受講した修了者	交通費	1/2(実費)	道養成講座修了証		
小樽市	これまでに助成金交付を受けてない方	宿泊料	市長判断	道養成講座修了証	試験合格後申請	小樽市障がい福祉グループ
	室蘭市民であること			領収書の写し		
倶知安町	(障害者社会参加等促進事業内奉仕員養成研修事業)	予算内であることが前提		交付申請書	様式1(事前申請)	倶知安町福祉医療課
	登別市住民で18才以上	交通費	100%	交付申請額算出調書		
赤平市	障害者団体より推薦を受けた者	資料代	支給	事業計画実績・事業予算書	様式3(終了後申請)	2021/3/31交付
	小樽市内に在住する手話通訳者登録員	助成金	手話通訳士(8万円)	実績報告書		
新得町	倶知安町に住所を有するもの	予算内であることが前提		交付申請書様式1(事前申請)	様式3(終了後申請)	2019年から手話言語条例制定
	倶知安町の手話通訳者として登録する意思のある者	交通費	100%	交付申請書様式3(終了後申請)		
赤平市	町税に滞納の無い者	宿泊料	旅費規程上限(9,000円)	領収書の写し	赤平市より赤平手話の会へ手話学習研修費補助を行い、研修費補助内より赤平手話の会が管理支給決定とする。	赤平市社会福祉課地域福祉係
	「赤平手話の会」の会員であること	1人の場合	宿泊・交通費支給、資料代適時			
		複数の場合	予算内にて適時支給			
	*申請については受付担当課による確認が必要となる。					
	*交通費(公共交通機関に限る)					
(参考)						
	福祉人材育成事業補助金交付制度(手話通訳士対応)					
新得町	既に町内の福祉事業所設置していない市で、研修等終了後1年以内に町内の福祉事業所(公立を含む。)に勤務することただし、公務員正規採用除く	予算内であることが基準で10万円まで		試験・講座案内資料	保険福祉課福祉係	手話言語条例制定
		交通費	50km以上対象(1/2支給)	受験申込書写し		
		受験・受講料	支給(1/2)	健康保健書写し		
		資料代	支給(1/2)			

■現任（登録）手話通訳者研修会の開催

手話通訳者として北海道ろうあ連盟に登録されている者を対象として、その知識・技術の維持・向上を図る研修会を開催した。(年3回：全道各地で開催、2021年度は1回)

■開催内容

振興局	参加対象地域	開催地	開催日	参加人数
第 1 回				
石狩	札幌	札幌市	1月15日(土)	8
渡島	南渡島・北渡島・檜山	函館市	8月22日(日)	8
檜山	南檜山・北檜山・檜山	今金町	11月6日(火)	2
後志	後志	余市町	8月1日(日)	7
空知	空知	岩見沢市	10月23日(土)	10
上川	上川北部	名寄市	8月9日(月祝)	4
	旭川	旭川市	10月30日(土)	12
	南部	富良野市	8月7日(土)	3
留萌	留萌市	留萌市	10月22日(金)	2
宗谷	宗谷	稚内市	9月23日(木祝)	6
オホーツク	オホーツク	北見市	10月10日(日)	4
胆振	西胆振	室蘭市	11月21日(日)	12
日高	東胆振	苫小牧市	7月18日(日)	8
	日高			
十勝	十勝	帯広市	11月20日(土)	16
釧路	釧路	釧路市	7月31日(日)	11
根室	根室	中標津町	11月3日(水祝)	4
		根室市	10月10日(日)	4
合 計		121名		

■要約筆記者養成講座の開催

聴覚障害者の福祉に理解と熱意を有する者に対し、手話の理解と取得の困難な中途失聴者・難聴者のコミュニケーション手段として不可欠な要約筆記者を養成した。

■要約筆記者養成講座の開催・統一試験の実施（北海道委託事業）

2021年度報告：（開催地）道内1か所（札幌会場）（講義・実技 84時間）

目的：要約筆記者を養成し、聴覚障害者等の福祉の向上等を図ることを目的とする。

内容：要約筆記者としての専門的な知識・技術の習得、統一試験の実施

対象：聴覚障害者の福祉に理解と熱意があり、講座受講終了後、全国統一要約筆記者認定試験を受験することを条件とする。

受講生 11名(手書き8・パソコン3) 全課程修了者 10名(手書き8・パソコン2)

統一試験合格者 2021年度受講者 2名(手書き2)

過去の受験者 3名(手書き1・パソコン2) 合計5名

■要約筆記者指導者養成研修への派遣

要約筆記者を養成するための指導者の養成を目的に開催する「要約筆記者指導者養成研修」へ受講者を派遣した。

講座内容

- ①基礎研修コース（指導者をを目指す者で、都道府県障がい福祉主管課等が認めた者）
- ②ステップアップコース（①修了者で、養成講座の指導経験者・都道府県障がい福祉主管課等が認めた者）

会 場：全国障害者総合福祉センター（戸山サンライズ）、一部リモート研修あり

修了者：①基礎研修（手書き） 3名 ・ ・ ・千歳市・苫小牧市・美唄市

②ステップアップ（パソコン） 1名 ・ ・ ・北広島市

手話の普及事業

■手話通訳士育成研修会の開催

【手話通訳士育成講座】

日 時：2021年7月24日（土）13：00～18：40

7月25日（日） 9：00～16：00

会 場：かでの2.7 1050 会議室

受講者：3名

■手話通訳者養成講師育成研修会の開催

日 時：2021年10月30日（土） 9：30～17：00

10月31日（日） 9：00～15：30

■レベルアップ講座

（札幌） 日 時：2021年10月9日（土）～10日（日）

かでの2・7 参加者：6名

（日高） 日 時：2021年10月23日（土）～24日（日）

新ひだか町総合町民センター 参加者：5名

（稚内） 日 時：2021年7月17日（土）

稚内総合勤労者会館 参加者：9名

（中標津） 日 時：2021年11月13日（土）～14日（日）

中標津町総合福祉センタープラット 参加者：14名

（留萌） 日 時：2021年10月23日（土）

はとふる 参加者：14名

■手話研究集会の開催

【第 41 回北海道手話通訳問題研究集会】

日 時：2021 年 7 月 4 日(日) 9：30～17：00

■手話講師の派遣

手話や聴覚障害の普及・啓発を図るため講師を派遣した。

<北海道ろうあ連盟法人部門>

日時・会場	依頼者・会合名・内容
7 月 15 日・29 日、8 月 5 日・26 日 10 月 7 日・14 日・21 日・28 日 11 月 4 日・18 日・25 日 12 月 2 日・16 日 1 月 13 日、 2 月 17 日・24 日 3 月 3 日・10 日・17 日・24 日 洞爺湖町役場・かでの 2.7(遠隔手話講座)	洞爺湖町職員及び町民向け手話講習会 講義・実技
7 月 20 日、10 月 20 日 11 月 25 日・30 日、12 月 23 日 自治労会館 他	日本経営協会 北海道新採用職員研修 講義・実技
10 月 21 日・28 日、 11 月 4 日・11 日・18 日 12 月 2 日・9 日・16 日・23 日 1 月 20 日、2 月 24 日 3 月 3 日・10 日・17 日・24 日・31 日 (コロナの影響で日程がずれ、2 回分は 2022 年 4 月に持ち越し)	稚内市手話奉仕員養成講座(基礎) 講義・実技
12 月	津波フラッグ紹介動画への手話通訳付与 ／編集作業含(札幌管区气象台)
2～3 月	北海道障がい者虐待防止権利擁護研修動 画への手話・字幕付与／編集作業含 (道障がい者保健福祉課)
2 月 24 日	ろうあ者相談員の講演(高等聾学校)
2021 4 月～9 月 前期 全 15 回	学校法人美専学園 北海道医薬専門学校 保育学科 講義・実技、手話検定試験 5 級(全員合格)

2021年10月～2022年2月 後期 全16回(1回3コマ) 札幌観光ブライダル・製菓専門学校	学校法人安達学園 札幌観光ブライダル・製菓専門学校 ユニバーサルサービス(手話)授業・遠隔 含
--------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------

<手話通訳派遣センター養成研修部門>

日	時	依頼者・会合名・内容
7月2日	18:00～21:00	釧路町：手話奉仕員レベルアップ研修会 実技：講義：「手話通訳実践」「理論学習」等
7月16日	18:00～21:00	釧路町：手話奉仕員レベルアップ研修会 実技：講義：「手話通訳実践」「理論学習」等
7月30日	18:00～21:00	釧路町：手話奉仕員レベルアップ研修会 実技：講義：「手話通訳実践」「理論学習」等
10月9日	13:00～16:00	釧路町：手話通訳者研修会 実技：講義：「手話通訳実践」「理論学習」等
11月25日	18:00～19:30	士別市：手話通訳者応用講座 実技：講義：「医療場面通訳」「表現練習」等
12月10日	17:00～21:00	釧路町：手話通訳者研修会 実技：講義：「手話通訳実践」「理論学習」等
12月17日	18:30～20:30	江別市：手話通訳登録者研修会 実技：講義：「聞き取り通訳」
3月12日	13:00～16:00	北見市：登録手話通訳者研修会 実技：講義：ロールプレイ

北海道聴覚障がい者情報センター

■聴覚障害者情報提供施設関係

北海道聴覚障がい者情報センターが2019年8月1日に開所して早くも2年が経過しました。

全国で最後の聴覚障害者情報提供施設として小さいながらも要約筆記事業・遠隔手話サービス等のICTによる聴覚障害者への意思疎通支援事業のニーズが増えています。

北海道は九州(8県)+中国地方(5県)+四国3県分の面積があります。北海道に聴覚障害者情報提供施設は北海道と札幌市の2カ所のみであり、これに対して九州+中国地方+四国では聴覚障害者情報提供施設は政令指定都市も含めると18カ所あります。北海道という広大な大地をカバーしていくには、ICT意思疎通支援事業が必要です。

また、今から手話通訳者を5年かけて育てないと5年後には、14振興局の設置手話通訳者の数が定年退職により半分以下になる恐れがあります。これは、北海道全体の問題であり、身体障害者手帳をもつ聴覚障害者は、24,783名（2020年度）で、手話言語の必要な人は約5,000名いるのに対して手話通訳者は390名です。

要約筆記を必要としている聴覚障害者約7,500名に対して、要約筆記者は60名と大変立ち遅れています。それだけではなく意思疎通支援者の平均年齢は50代後半となっており、意思疎通支援者のニーズが不足している地方における育成問題を解決するためにも北海道聴覚障がい者情報センターが担う役割はとてつもなく大きく、まさに意思疎通支援者の「レッドゾーン」となっています。

北海道聴覚障がい者情報センターの利用者もコロナ禍によってオンラインを利用する機会が増え、北海道聴覚障がい者情報センターは、手話言語を普及するためにもすべての道民を対象にしたオンライン手話講座や、手話関係団体の交流会や研修会等と道民になくてはならない施設となりました。

北海道聴覚障がい者情報センターが開所する前は、北海道の補助事業（保健福祉関連事業）のみで運営されてきました。しかし、今は「手話言語」の社会認知の広がりや道民のみならず、国の事業（総務省等）や道の様々なニーズに対応しています。

総務省のICT（情報通信）事業や知事記者会見（広報広聴課）等、2022年度に事業受託される事業の殆どが、ICT（通信情報）であり、デジタル社会に加速していくにつれて事業の幅が広がっています。

デジタルデバイス化によって北海道聴覚障がい者情報センターの機能も多様化してきており、それによって意思疎通支援事業をスタジオ兼務で利用することが限界になっています。ICT意思疎通支援事業はセキュリティのプライバシーに配慮しなければ事業が困難です。デジタル社会に対応していくためにも北海道聴覚障がい者情報センターの機能を対面とICTの特性を生かした事業に見直す時期に来ています。

例えば1974（昭和49）年12月9日、道議会に公立聴覚障害者情報提供施設の設定を求めて請願書を提出してから47年の間に、北海道ろうあ連盟は全道各地の仲間が、街頭署名運動や聴覚障害者情報提供施設設立デモ行進を行う等、長きにわたって北海道に誇れる聴覚障害者情報提供施設を求めてきました。

まだ、北海道聴覚障がい者情報センターとして開所して日も浅いですが、社会の様々なニーズに応えるためにも、日本一小さな聴覚障害者情報提供施設からICTの特性を活用した聴覚障害者情報提供施設に変わる時期に来ています。

■北海道聴覚障がい者情報センター利用者数

月 度	来館者数							
4月	10	5月	22	6月	4	7月	7	
8月	2	9月	50	10月	9	11月	44	計
12月	16	1月	10	2月	7	3月	37	218

■全国聴覚障害者情報提供施設協議会

- ・全国聴覚障害者情報提供施設協議会総会

2021年6月24日（木） オンライン

- ・全国聴覚障害者情報提供施設協議会北海道・東北ブロック会議

2022年2月21日（月） オンライン

意見交換（遠隔手話通訳等）

■北海道聴覚障がい者情報センター運営懇話会

北海道聴覚障がい者情報センターの運営を円滑に推進するため北海道聴覚障がい者情報センター運営懇話会を開催した。

第1回	2021年9月15日（水）	13:30～15:30	かでの2. 7
-----	---------------	-------------	---------

（内容） ○今後の事業実施方針及び事業概要等について説明及び協議等を行った。

懇話会委員出席表

役 職	氏 名	第1回
		9月15日
議 長	山根 昭治（北ろう連）	○ zoom
委 員	渋谷 雄幸（北ろう連）	○
委 員	金原 浩之（北ろう連）	○
委 員	藤野 友紀（学識経験者）	×
委 員	澤口 隆之（北身協）	○ zoom
委 員	沖村 圭子（札幌ろう福社会）	○ zoom
委 員	佐々木亜規子（道中失協会）	○ zoom
委 員	高橋 律子（道要約筆記者の会）	×
委 員	白木 喜子（全要研）	○ zoom
委 員	松井 宏之（道通訳士会）	○ zoom
委 員	渋谷 梯子（北通研）	○
委 員	神能 直子（北手協）	○ zoom
委 員	遠藤 篤也（障がい者保健福祉課）	○ zoom

■手話通訳派遣センター運営委員会の開催

第1回	2021年4月24日(土)	13:00~16:00	かでの2.7
第2回	2021年11月20日(土)	10:55~12:30	かでの2.7
第3回	2022年2月12日(土)	13:00~16:00	かでの2.7

■運営委員会出欠表

役職	氏名	第1回	第2回	第3回
		4月24日	11月20日	2月12日
委員長	山根 昭治(北ろう連)	○	○	○
副委員長	渋谷 雄幸(北ろう連)	○	○	○
委員	大内 祥一(北ろう連)	○	○	欠
委員	金原 浩之(施設長)	○	○	○
委員	中 和彦(事務局長)	○	○	○
委員	高嶋 正博(北ろう連)	○	○	欠
委員	宮内 博子(北ろう連)	○	○	○
委員	佐々木柄理子(北ろう連)	○	○	○
委員	佐々木亜希子(道中失協)	○	○ _{zoom}	○ _{zoom}
委員	渋谷 悌子(北通研)	○	○	○
委員	松井 宏幸(道士会)	○	○	○
委員	尾形 直樹(北手協)	○	○	○
委員	藤野 友紀(学識経験者)	○	○	欠
委員	白木 喜子(全要研道ブロック)	欠	○ _{zoom}	○ _{zoom}
委員	永井 千里(道要約筆記者の会)	○	○	○
オブザーバー	道障がい者保健福祉課	欠	欠	欠

■聴覚障害者災害救援北海道本部会議

災害時の安否確認方法等に係る調査結果報告及び今後の検討方法等について協議を行った。

第1回	2021年11月20日(水)	9:30~10:45	かでの2.7
-----	----------------	------------	--------

本部会議出席表

役職	氏名	第1回
		11月20日
本部長	山根 昭治(北ろう連)	○

副本部長	渋谷 雄幸（北ろう連）	○
委員	金原 浩之（北ろう連）	○
委員	中 和彦（北ろう連）	○
委員	佐々木亜規子（道中失協会）	○ zoom
委員	白木 喜子（全要研）	○ zoom
委員	永井 千里（道要約筆記者の会）	○
委員	尾形 直樹（北手協）	○
委員	渋谷 梯子（北通研）	○
委員	松井 宏之（道通訳士会）	○

■字幕ビデオライブラリー事業

北海道の補助を受けて、（社福）聴力障害者情報文化センター・札幌市視聴覚障がい者情報センター等と連携し、字幕・手話付き映像作品の制作と貸出やHPでの閲覧業務を行った。

- ・対象：聴覚障害者、聴覚障害者福祉関係機関・団体、手話学習者等

【貸出事業】

手話・字幕が付与されたDVDを北海道内の聴覚障がい者や手話関係者に貸出を行った。

- ・新規登録数

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
聴覚障害児者	1								1				2
団体・学校・施設等	1	2	2	2	2		1			1	1		12
合計	2	2	2	2	2		1		1	1	1		14

- ・貸出数

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出数	3	2	5	4	3	4	1	9	5	2	1	1	40

- ・貸出人数

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
聴覚障害児者	1					1		1	3			1	7
団体・学校・施設等	1	2	3	3	2	1	1	3		2	1		19
合計	2	2	3	3	2	2	1	4	3	2	1	1	26

【知事会見手話ワイプ制作事業】

北海道知事定例記者会見に手話通訳付きの動画を作成し道のHPで公開した。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5	4	3	5	3	3	4	4	3	4	4	1	43

【自主制作事業】

- ・聴覚障害や手話に関するDVDを1本製作し貸出した。

タイトル	時間
第54回全道ろうあ者夏季体育大会	35分20秒

- ・手話を付随した動画を1本製作し北海道聴覚障がい者情報センターHPで公開した。

タイトル	時間
北海道から新型コロナウイルスワクチンの接種についてのお知らせ	8分50秒

■手話通訳者全国統一試験

手話通訳者養成講座修了者及び同等の知識・技術を有するものを対象に全国手話研修センター主催の試験を道内4か所で実施した。

日 時：2021年12月4日（土）

会 場：札幌市・函館市・旭川市

区分	会場	申込者数	受験者数	合格者数
養成講座修了者	札幌	12	11	2
	函館	7	7	1
同等の知識・技術を有するもの	札幌	14	14	0
	函館	2	1	0
	旭川	18	18	5
合 計		63	53	51
合格率		26.7%		

【情報・コミュニケーション部】

- (1) 2021年度 北海道手話通訳者健康問題対策委員会

日 時：2021年1月29日（土） 10：00～12：00（リモート会議）
出席者：北ろう連：渋谷、中、伊藤 北通研：板谷 北手協：坂元
道士会：松井、山田 北ろう組：畠山

【内 容】

- ① 北通研より健康学習会と健康対策担当者会議の報告
- ② 「雇用された手話通訳者の労働と健康についての実態に関する調査研究」の学習会開催
- ③ 問診票の周知を市町村に広く進める為に道庁障がい者福祉課に依頼し、振興局より周知を促す。
- ④ 現在の問診票にVDT作業を取り入れる事が可能か？協議する。
- ⑤ 全通研を通じて、全国組織による国（厚労省）への働きかけを行う
- ⑥ 会計収支報告

聴覚障害者の福祉の増進に関する事業

■全道ろうあ者相談員・全道専任手話通訳者研修会の開催

ろうあ者相談員・専任手話通訳者の資質の向上を図るため、福祉に関する諸問題を討論する研修会を開催した。

【第47回全道ろうあ者相談員研修会・第44回全道専任手話通訳研修会】

日 時：2021年10月14日（木） 9：30～17：00

2021年10月15日（金） 9：30～15：30

【変更事項】 新型コロナウイルス感染症拡大により事業を中止

【道政等懇談会】

(1) 北海道聾学校校長会との教育懇談会

日 時：2021年11月10日（水）14：00～16：00

場 所：かでの2.7（連盟）、各校とのオンライン会議

出席者：全道聾学校校長会

会 長	むろおか 室岡 弘明（北海道高等聾学校長）
副会長	す み 須見 千慶（北海道札幌聾学校長）
事務局長	し ぎ 四木 定宏（北海道旭川聾学校長） 司会
理 事	すがの 菅野 弘尊（北海道帯広聾学校）
理 事	にかいどうようこ 二階堂洋子（北海道室蘭聾学校校長）
監 事	おおつか まさひこ 大塚 雅彦（北海道函館聾学校校長）
監 事	きたじま きみひろ 北嶋 公博（釧路鶴野支援学校校長）

連盟

山根理事長、渋谷副理事長、大内副理事長、金原常務理事、
中事務局長、宮内理事（教育・文化対策担当）

内容については参考資料をご覧ください。

(2) 教育局との懇談会

日 時：2021年11月22日（月） 10：00～11：30

場 所：道立道民活動センター（かでの2.7）

出席者：北海道教育庁学校教育局／義務教育課義務教育指導係 平嶋主査

特別支援教育課特別支援教育振興係 吉田主査

連盟／山根理事長、渋谷副理事長、大内副理事長、金原常務理事、
中事務局長、宮内教育・文化対策部長

内容及び回答については参考資料をご覧ください。

(3) 道政懇談会（福祉部）

日 時：2021年11月22日（月） 13：00～14：30

場 所：道立道民活動センター（かでの2.7）

出席者：北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課／

遠藤課長、相馬課長補佐、長多係長、須藤主事、小林主事

連 盟／山根理事長、大内副理事長、金原常務理事、中事務局長

重点①道から国への要望

- 1) 「日本手話言語法」「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション法」
- 2) 北海道が制定した手話言語条例に基づき、手話言語への理解と普及
- 3) 合理的配慮の提供推進や障害者への差別・優生思想の払拭のため

②災害分野の要望

- 1) 防災情報は、手話・字幕を挿入、避難所のコミュニケーション・情報保障のため

③北海道の聴覚障害者が地域格差なく公平な福祉サービスを利用

④社会参加のための要望

⑤難聴児の早期支援に向けた保健・医療・福祉・教育の連携プロジェクト

⑥手話通訳者関連（全国手話通訳者統一試験・受講生の経済適負担解消等）6項目

今回は昨年度に引き続き、国への要請を加えて、また災害分野の要望や情報センターの環境整備と手話通訳者関連事業等6項目の要望は、報告事項の参考資料を参照してください。

(4) 北海道労働局（労働部）

日 時：2021年11月22日（月） 15：00～16：00

場 所：北海道労働局

出席者：労働局／職業安定部職業対策課 坂本課長・横山地方障害者雇用担当官
連 盟／山根理事長・渋谷副理事長・大内副理事長・金原常務理事・
中事務局長

重点 貴局から国への要望

- ①手話協力員の活動（手話協力員稼働時間）
- ②採用面接に本人が手話通訳を要望した場合、同行
- ③聴覚障害者の特性について理解を深めて頂ける研修の場
- ④手話協力員制度に関して積極的に利用者、企業へ周知
- ⑤貴局から厚生労働省等、関係機関へ働きかかると（手話協力員の報酬単価の増額）
- ⑥「全国職業安定所手話協力員等研修会兼ろうあ者労働問題フォーラム」事業を厚生労働省による主催で開催する

内容及び回答：聴覚障害者の労働及び雇用施策への要望は、報告事項の参考資料を参照してください。

聴覚障害者福祉に関する普及・啓発

■第62回全道ろうあ者大会 in 北海道

日 時：2021年9月5日(日)12:30~17:00

会 場：札幌会場（かでの2・7）から道内各会場へオンライン配信

内 容：①記念映画「咲む」撮影について想ったこと、感じた事

講師 映画「咲む」監督 早瀬憲太郎氏

②セミナー（1） 「手話キャスターと私」

講師 目で聴くテレビ番組制作 柳 喜代子氏

③セミナー（2） 「国際手話について」

講師 一般財団法人全日本ろうあ連盟

青年部中央委員 岡本 麻佑氏

参加数：約500数名（オンラインで史上初）

■第24回 ろうあ者労働問題フォーラム

日 時：2021年10月24日（日）10:00~15:00 受付9:30~

会 場：道立道民活動センター（かでの2・7）10階1020号会議室

講 演：「全国の現状及び今後の取り組み課題について」

講師 一般財団法人全日本ろうあ連盟福祉・労働委員会

労働専門委員 岩山 誠氏

参加者：ハイブリット形式【オンライン(9名)及び対面(8名)】による17名参加

内容及び状況 ※詳細は北聴紙第234号（2022年1月10日）参照

■2021年度 北海道ろうあ連盟スポーツリーダー育成研修会

日 時：2022年1月16日（日） 9：30～11：00

会 場：道立道民活動センター（かでの2.7）

講 演：「デフリンピックとろう者スポーツについて」

講 師：一般財団法人全日本ろうあ連盟理事・スポーツ委員会委員長 小椋武夫 氏

9：30～11：00 小椋氏による講演（オンライン事前動画収録）

11：00～12：00 第2回北海道ろうあ連盟スポーツ委員会

（参加者）24人

1. 第1回スポーツ委員会

日 時：2021年6月26日（土） 18：30～20：00

会 場：よつ葉アリーナ十勝（帯広市）

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業を中止

2. 第2回スポーツ委員会

日 時：2022年1月16日（日） 11：00～12：00

会 場：道立道民活動センター（かでの2.7） 730号室

競技団体：バドミントン、サッカー、フロアカーリング、ボウリング、パークゴルフ

男子バレーボール、ソフトバレー、ソフトボール

ろう協会：札幌、旭川、小樽、江別、室蘭、帯広、千歳、函館

欠席団体：ゲートボール

内 容：1. スポーツ委員会活動報告

2. 第55回全国ろうあ者体育大会（兵庫県）報告

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業を中止

3. 各競技団体より経過報告と今後の予定

3. スポーツ委員会体制について

委員長 熊倉 晃（小樽）・事務局長 和田 由記子（室蘭）・事務局員 長谷 和明（札幌）

■第22回ろう教育フォーラム in 北海道

日 時：2021年8月1日（日） 13：00～16：00

会 場：札幌市教育文化会館

講 演：「群馬のろう教育と手話言語条例の取り組み」

講 師：一般財団法人全日本ろうあ連盟 教育・文化委員会副委員長

ほりごめ やすはる
関東ろう連盟 理事 堀米 泰晴 氏

参加者： 41名（札幌、旭川、苫小牧の3会場および個人オンライン参加 15名）

新型コロナウイルス感染症防止の為、講師は群馬からオンライン講演。
会場参加およびオンライン参加のハイブリッド式で行いました。

収益等事業

■出版等事業

①出版事業（書籍の制作・販売、（一財）全日本ろうあ連盟が扱う書籍の販売）

2021年度書籍売り上げ（数）ベスト20

2022年3月31日現在

順位	品名	売上冊数	昨年参考		売上額 (円・税抜)	備考
1	「咲む」ミルキー	562	249	↑	51,316	上映会で販売
2	手話を学ぼう手話で話そうテキスト	395	501	↓	1,100,100	
3	新型コロナウイルス感染症関連用語	343	—		156,650	新刊
4	DVDで楽しく学べる初めて出会う手話	312	169	↑	557,300	専門学校（2年分）
5	新 たっちゃんと学ぼう	255	161	↓	50,200	
6	季刊MIMI 172（夏）	246	248	↓	212,465	参考：168号
7	季刊MIMI 174（冬）	242	248	↓	209,011	参考：170号
8	季刊MIMI 173（秋）	241	247	↓	208,174	参考：169号
9	季刊MIMI 175（春）	235	244	↓	202,968	参考：171号
10	「咲む」プログラム	187	—		85,005	上映会で販売
11	通訳養成講義テキスト改訂版	120	173	↓	203,920	
12	新しい手話2021	110	351	↓	92,160	
13	「咲む」クリアファイル	101	21	↑	9,183	上映会で販売
14	手話学習辞典Ⅰ（緑）	58	52	↓	141,700	
15	手話通訳Ⅰテキスト	55	32	↑	146,720	
16	手話学習辞典Ⅱ（オレンジ）	41	45	↓	118,858	
17	手話通訳Ⅲテキスト	35	36	↓	94,645	
18	2021全国手話検定試験解答集	34	21	↑	108,000	参考2020版
19	手話通訳Ⅱテキスト	30	42	↓	81,482	
20	「咲む」Tシャツ	27	12	↑	36,821	上映会で販売

■手話カレンダー等事業

2021 年度手話カレンダー売上

2022 年 3 月 31 日現在

品 名	仕入	贈呈	販売数 (昨年)	残数	売上額 (昨年)
手話カレンダー (大)	2,000	110	1,561 (1,371)	329	650,800 (620,100)
手話カレンダー (小)	2,000	116	1,672 (1,492)	212	600,100 (560,850)
合 計	4,000	226	3,233 (2,863)	541	1,250,900 (1,180,050)

■自動販売機手数料事業

	設置場所	売上手数料
1	道立総合体育センター (きたえーる)	26,826
2	渡島振興局 (2 台)	126,506

相互扶助等事業

■機関紙部

(1) 機関紙「北聴」発行

2021 年度	主な内容
第 230 号 (5 月 10 日発行)	公共放送が手話言語を不適切表現、即動画削除を求めるなど
第 231 号 (7 月 10 日発行)	第 9 回社員総会は書面決議 など
第 232 号 (9 月 10 日発行)	北海道議会議員手話を広める議員連盟発足など
第 233 号 (11 月 10 日発行)	第 62 回全道ろうあ者大会 初のオンライン開催 495 名など
第 234 号 (1 月 10 日発行)	協会に入会したきっかけ、第 24 回ろうあ者労働問題フォーラムなど
第 235 号 (3 月 10 日発行)	優生保護法訴訟 大阪高裁 逆転勝訴判決 など

※6 ページ (1 月 10 ページ)

1. 2021 年度の報告

1) HSK 北聴の特徴

① HSK 北聴を 2 カ月ごとに 1 回、合わせて 6 回発行しました。賛助会員 (8 団体・個人 28 名

※2022年3月時点）を募集して少しずつ増えてきています。

- ②コロナ禍に適応したオンライン会議、ハイブリッド形式での事業を増やしてきている状況を記事化していきました。
- ③理事に入会したきっかけ、会員になって良かったことを書いてもらい、読者には協会の存在意義を振り返ってもらい、会員拡大の方法を検索するきっかけになると良いと思います。

■生活訓練事業

聴覚障害者の社会生活に関する各種教室等を開催する加盟団体を支援した。

ブロック	道南ブロック	道央ブロック	道北ブロック	道東ブロック
期 日	中 止	7月4日（日）	中 止	中 止
会 場		千歳・札幌（オンライン形式で開催）		
参加者		19名		
内 容		主に ・全国ろうあ者大会の評議員会の報告 ・各協会の手話言語条例の施策と実態		
講 師				

■組織部

(1) 合同研修会（ハイブリッド研修）

日 時：2021年11月6日（土）～7日（日） 13：30～翌15：30
会 場：9会場（札幌・小樽・函館・旭川・江別・帯広・釧路・北見・苫小牧）
参加人数：12協会 約70名
内 容：第一講目 『状勢と課題』

「全日ろう連」（全日本ろうあ連盟評議員会報告に基づく意見交換）」

第二講目 『状勢と課題』

「手話普及事業」（手話普及事業の指導現状と課題）」

第三講目 『運動の取り組み』

「北ろう連（運動）&私たちの課題」

(2) 24協会事務局長オンライン会議（Zoomによるオンライン会議）

日 時：2022年3月29日（火）・3月31日（木）・4月6日（水）
4月8日（金） 計4回

会 場：17会場（函館・札幌・北広島・根室・十勝・小樽・旭川・美唄・石狩・後志・岩見沢・釧路・江別・千歳・上北・帯広・北見）

参 加 者：各協会事務局長・会長

内 容：意見交換会

1. 合同研修会

2021年11月6日から7日に、Zoomによるオンラインと対面を同時に行ったハ

イブリッド研修は24協会のうち12協会、約70名が参集しました。同研修は、2日間にわたり組織部、情報・コミュニケーション部、福祉・労働対策部が一緒になり、それぞれ企画を設け実施しました。身近なテーマであったことから活発な意見が飛び交い、有意義な時間を過ごすことが出来ました。

2. 24協会事務局長オンライン会議

事務局と組織部、各専門部の7人構成で組織改革委員会を設け、2回のオンライン会議を通して加盟団体協会との意見交換会が必要と言うことから初めての試みとして「24協会事務局長連絡会議」を開催する方向とし、加盟団体協会に案内を出したところ、24協会のうち、17協会が出席しました。コロナ禍による情報発信の制限や、会員減少、日聴紙拡大についての課題など問題を抱えている現状が見えられました。今後もオンラインによる事務局長連絡会議を数回開催していきたいと思えます。

3. 北海道ろうあ連盟の現状と課題

対面での研修また会議が本来望ましい一方、地理的、時間的、経済的な事情で参加が難しい協会からはオンラインを通じたことで参加するところが増え、今後は対面とオンラインを併せ持ったハイブリッド形式で続けたいと思えます。

24協会事務局長連絡会議では加盟団体協会との連携をより一層強化し、オンライン接続が出来ない協会に対しては必要機器の借用にあわせ、フォローできる体制を作っていく必要性を考えていきます。

三拡大（会員、日聴紙・MIMI読者）の取り組みに関しては、コロナ禍の影響から直接会って話す機会が難しい地域の格差が出てきています。しかし、日聴紙の拡大は地域によって出来たところもあり、取り組み対策を共有できる場を設け目標数の達成ができるようご協力をお願いしたいと思えます。

会員の所属自治体（62自治体）2021.12.31届出による。

道南		道央	道北		道東	
小樽市	えりも町	石狩市	旭川市	愛別町	網走市	池田町
伊達市	鹿部町	恵庭市	赤平市	下川町	帯広市	音更町
苫小牧市	黒松内町	江別市	岩見沢市	鷹栖町	北見市	釧路町
登別市	白老町	北広島市	士別市	当麻町	釧路市	訓子府町
函館市	寿都町	札幌市	滝川市	羽幌町	根室市	鹿追町
北斗市	古平町	千歳市	名寄市	東川町	斜里町	白糠町
室蘭市	森町	夕張市	美唄市	東神楽町	新得町	津別町
	余市町	当別町	富良野市	三笠市	中標津町	美幌町
	七飯町		稚内市		幕別町	芽室町
	泊村				羅臼町	広尾町

*あいうえお順

*太字は加盟団体協会事務局がある自治体

	ブロック	道南ブロック	道央ブロック	道北ブロック	道東ブロック
ブロック 委員会 委員氏名	構成 役職	後志・胆振・渡島管 内	石狩管内	上川・空知・宗谷管 内	釧路・根室・十勝・ オホーツク管内
	委員長	熊倉晃（小樽）	猫宮邦裕（千歳）	稲荷山佳光（美唄）	—
	副委員長	山本時枝（伊達）			—
	事務局長	山野未来（後志） 付：宮武美登里（室蘭）	杉本五郎（石狩）	野田一男（旭川） 副：橋本由美（旭川）	今野ヒデ（根室）
	会計部長	酒井幹雄（苫小牧）	野口和伸（札幌）	工藤努（旭川）	長縄貞子（根室）
	組織部長			岡崎尚則（上川北部）	
	監事	大澤利彦（函館） 山田隆（登別）	大谷政敏（北広島）	大田晃栄（旭川）	鎌野英幸（十勝）
	ブロック内サークル、 北通研との共同や連 携に関する事など	例）サークル育成、ろう相設置、通訳者、奉仕員講座開設、講師養成、登録、派遣制度に関する 意見交換などありましたら書いてください。			
ブロック 委員会の 開催	社員 総会前	例）ブロック内（地域）の福祉課題の検討や取組み、議案、提案、懸案事項への意見集約に関し てどんなことがあったか書いてください			
	社員 総会后	道南ブロック評議員 会 2021年5月 9日（日） 会場：室蘭市障害者福 祉総合センター		なし	なし
ブロック 研修 交流会の 開催	期 日	中止	7月4日		
	会 場		千歳・札幌		
	参加者		19名		
	内 容		生活訓練事業参照		
振興局内代議員 選出の調整				旭川範囲は臨時総会 で代議員選挙を行う。 旭川市街在住者はそ の範囲で代議員選挙 を行う。岩見沢、上川 北部は役員会で協議。 美唄・中空知・稚内は なし	

連盟各部・委員会等の活動に対する支援

■教育・文化対策部

全国ろうあ者大会写真コンテスト入賞者作品展示は全国ろうあ者大会中止の為、2年連続で開催無し。

■青 年 部

1. 第62回全道ろうあ者大会inオンライン

日 時：2021年9月5日(日)

→今回は青年部と女性部合同で「国際手話」をセミナーとして実施した。

講師は全日ろう連青年部中央委員会に依頼した。

2. 第34回全道ろうあ青年研究討論会 in 函館 (ミニ青研)

日 時：2021年10月3日(日)

【変更事項】 新型コロナウイルス感染拡大によりオンライン開催にした。

北ろう連機関紙部長福島太郎氏に講演を依頼した。参加者数は18名。

3. 第53回北海道ブロック代議員会in札幌

日 時：2022年1月15日(土)

場 所：札幌市 北海道立道民活動センター [かでの 2.7]

2年連続対面+オンライン併用でハイブリッド形式で開催。

代議員会は23名のうち、出席10名、委任5名、14名で成立した。

事業報告や事業方針、会計などを審議し承認と賛成をいただいた。

また2022年度より代議員数を各協会2名→3名に増員の規約改正を行った。

2022年～23年度全日ろう連青年部中央委員は以下の通り。

推薦中央委員：清原 麻美 (きよはら まみ)

立候補中央委員：佐藤 尚行 (さとう なおゆき)

■女性部

1. はじめに

2021年度もコロナ禍により満足できる事業を行うことが出来ませんでした。

第30回全道ろうあ女性研修会は、札幌会場から道内会場へオンラインでの配信となりましたが、代議員の皆様のご協力をいただきながら開催することができました。

今後、超高齢・人口減少社会にあっても北海道ろうあ連盟（以下、連盟）の活力と安心を高めていくためには、年齢や性別に関わらず全ての人々が支え合える社会を構築することが必要であります。

そのためには、皆様には、積極的な経験や知識を生かし、連盟の一員として社会・経済を支える役割を担い、活躍することが求められるところであります。

こうしたことから、生涯現役社会に向けて、女性の皆様をはじめとする、いろんな世代が地域の一員として生涯を通じ、いきいきと社会で活躍するためのアイデアを様々な世代の方と考えていきたいと思っております。

2. 第62回全道ろうあ者大会「女性のつどい」について

【変更事項】 オンライン配信の為、青年部と共同企画により「国際手話について学ぼう」を企画しました。

3. 第38回全道ろうあ女性交流会及び第31回全道ろうあ女性研修会について

新得町の社会福祉法人厚生協会理事長 田中雅之氏を講師に迎え、「わかふじの過去・現在・未来 ～過去から学び未来に託す希望は？～」をテーマにお話し

していただきました。

4. 今後について

皆様との交流の場である公共施設が人数制限かかるなど活動の幅が狭くなりました。女性部として今できる活動を精一杯実施していきます。コロナというピンチをチャンスに変え、北海道ろうあ連盟女性部らしい取り組みを発信していこうと思います。

5. 第9回（公）北海道ろうあ連盟女性部定期総会

日 時：2022年2月20日（日）

開催地：札幌市（道民活動センター）から道内会場へオンライン配信

出席者：9名 委任：8名

昨年度同様オンラインと対面による定期総会を実施し、1年間の事業や決算報告と、2022年度事業計画・予算案などについて代議員と意見交換し無事に終わることが出来ました。事務局長の補欠選挙を行い、2022年度も5名による新役員体制で活動する事を確認しました。

- ・2021年4月～2023年3月役員体制

部 長：佐々木柄理子（千歳）

事務局長：福岡 静枝（札幌）

組織部長：伊藤 千春（室蘭）

会計部長：杉本 洋子（石狩）

監 査：渡辺 菜穂子（札幌）

- ・一般財団法人 全日本ろうあ連盟女性部常任委員

部 長：佐々木柄理子

■高 齢 部

1. 北海道ろうあ連盟高齢部の活動報告

2021年度はコロナの疾患が蔓延し、全国大会をはじめ全道的な大会は軒並み中止またはオンライン開催になりました。

高齢部事業としては、全道ろうあ者大会高齢者のつどいですが、全道ろうあ者大会はオンライン開催とする連盟の方針から高齢者のつどいは昨年度に続いて中止することにしました。

2. 第13回北海道ろうあ連盟高齢部代議員総会の開催

第13回北海道ろうあ連盟高齢部代議員総会を3月21日（日）札幌市道民活動センター「かでる」1060会議室において開催し、役員の変更等を行いました。

新しい高齢部執行体制は下の通りです。

北海道ろうあ連盟高齢部役員体制（2021～2022年）

部 長 川口 豊 （十勝）

副部長 菊地 文雄 （旭川）

総務部長 鮎澤 正明 （帯広）

会計部長	中川 美鈴	(釧路)
組織部長	磯野 治夫	(小樽)
事業部長	小林 信之	(旭川)
調査・研究部長	扇谷 吉久	(函館)
次 長	杉本 五郎	(石狩)
監 事	吉田 雅敏	(札幌)
監 事	村中哲太郎	(帯広)

全日ろう連高齢部代議員
川口 豊 (十勝)、村中 哲太郎 (帯広)

文化スポーツ推進事業

■文化スポーツ表彰・助成事業（文化スポーツ基金事業）

聴覚障害者の文化・スポーツ活動を振興するため、表彰・助成を行う。

文化・スポーツ委員会の開催

・2021年11月20日（土）

・2022年2月12日（土）

選考メンバー 委員長：山根昭治

委 員：金原浩之、中 和彦、熊倉 晃、宮内博子、工藤努

木村克己（文化）、伊勢谷郁生（スポーツ）

2021年度 文化スポーツ賞及び助成事業

表彰者 河野 仁志（札幌聴覚障害者協会）

第62回全道ろうあ者大会(オンライン)にて表彰

■全道ろうあ者夏季体育大会に対する助成

【第54回全道ろうあ者夏季体育大会】

日 時：2021年6月25日（金）～27日（日）

【変更事項】 新型コロナウイルス感染症拡大により事業を中止

代替として開催予定だった帯広ろう者協会の協力を得て、会員へのインタビューの様子、帯広名物グルメ紹介動画をDVDで加盟協会へ発送しました。

■荒木身体障害者スポーツ基金助成事業

荒木身体障害者スポーツ基金から助成を受けて、聴覚障害者のスポーツ行事を開催する。

事業名 「北海道ろう者カーリング講習&交流会」

日 時 2021年12月5日(日)、12日(日)

場 所 どうぎんカーリングスタジアム
参加者 20名(スタッフ含む)

全国会議・研修会への派遣・協力

■全国派遣

■全日本ろうあ連盟評議員会 オンライン

2021年6月11日(金)～12日(土)かでの2.7(北海道会場)
都道府県ごとにオンライン会場を設置し、本部(理事・監事・議長)を含め48か所を繋いで開催された。

■組織部

1. 全国ブロック代表者会議 オンライン

日 時 2021年6月22日(火) 18:30～20:30

場 所 オンライン(加盟団体事務局)

内 容 会員規程の有無

各ブロック事業運営状況報告(「咲む」上映会、出版物販促)

コロナ禍での集会開催方法等

コロナワクチン接種について情報交換

日聴紙・季刊MIMI読者拡大運動状況報告

出席者 中事務局長、(金原常務理事オブサーバー参加)

9つのブロックを2回に分けて開催：北海道・東北・東海・九州(4ブロック)

2. 第2回全国ブロック代表者会議(オンライン)

日 時 2021年12月17日(金) 18:30～20:30

場 所 オンライン(加盟団体事務局)

内 容 会員拡大・日聴紙及び季刊MIMI読者拡大について

組織強化の工夫について

出席者 橋本組織部長(中事務局長オブサーバー参加)

9ブロック全て参加

3. 全国組織担当者会議 オンライン

日 時 2021年7月20日(火) 18:30～20:30

場 所 オンライン(加盟団体事務局)

内 容 各協会の事業報告運営報告

コロナ禍での集会の状況、好事例の共有

会員手帳・組織委員会ニュースの活用など

日聴紙・季刊MIMI読者拡大目標設定等について

出席者 中事務局長(金原常務理事オブサーバー参加)

47 協会を日別に分けてオンライン実施
北海道・茨城・山梨・神奈川・京都・山口・高知・沖縄

4. 第 31 回全国専従職員研修会(オンライン)

日 時 2021 年 12 月 17 日(金) 14:00~16:00

場 所 オンライン(加盟団体事務局)

内 容 「デジタル社会における専従職員が求められるものは？」

講師 渋谷 雄幸

出席者 中、橋本、京野、佐藤(尚)、山下

■福祉・労働対策部

1. 第 35 回全国ろうあ者相談員研修会・第 26 回全国職業安定所手話協力員研修会
等兼ろうあ者労働問題フォーラム

日 時：2021 年 11 月 20 日（土）10：00～15：00 受付 9：30～

会 場：連盟事務局から全国各会場へオンライン配信

内 容：「全国の各局への交渉結果及びその課題について」全国共通

2. 全国労働担当者代表者会議(オンライン参加)

日 時：2021 年 11 月 20 日（土）18：00～20：00

会 場：連盟事務局から全国各会場へオンライン配信

内 容：「全国の各局への交渉結果及びその課題について」全国共通

3. 2021 年度全国福祉担当者会議

【変更事項】 新型コロナウイルス感染症拡大により事業を中止

■情報・コミュニケーション部

第 54 回全国手話通訳問題研究集会～サマーフォーラム in やまがた～

日 時：2021 年 8 月 21 日（土）

会 場：山形（県外参加者にはオンライン配信）

■教育・文化対策部

1. 2021 年度オンラインろう教育を考える全国プレ集会

日 時：2021 年 10 月 17 日（日）午後

内 容：「記念講演「咲む」にかける思い～共生社会について考える～」

早瀬 憲太郎氏（学習塾早瀬道場塾長、映画監督）

〈パネルディスカッション〉「ろう教育の現場から目指す地域づくりとは」

例年開催される「ろう教育を考える全国討論集会」を新型コロナウイルス感染症予防のため、規模を縮小し、オンライン開催。

2. 全国教育担当者会議

2021年8月に加盟団体を5つに分けて、日にち別にオンライン形式で開催。

北海道は8月12日（木）夜の回に参加。

「聾学校や教育委員会との関りについて」各団体から報告した後、意見交換した。

- ・教育担当が置かれていない団体がある。
- ・聾学校教の聞こえない職員が加盟団体の会員となっている割合がまちまち。
- ・教育委員会と懇談の機会が取れない地域がある。

など、様々な状況が浮かび上がった。

■機関紙部

1. 2021年全国ろうあ連盟機関紙学校

日時：2021年11月5日（金）～7日（日）

会場：広島市

派遣無し

■青年部

1. 第9回東日本幹部研修会in北海道

日時：2021年8月8日（日）

参加者数は68名で北海道聴覚障がい者情報センター施設長金原浩之氏をお招きして講演を行った。その後にグループに分かれて様々な議論が行われた。

2. 第40回全国ろうあ青年部活動者会議in岡山

日時：2022年2月11日（金）

場所：オンライン

テーマ：組織強化 ～スポーツ会員の現状や青年部との関わりを強化するには～

参加者：7名（北海道）

3. 第55回全国ろうあ青年研究討論会in鳥取

日時：2021年11月26日（金）～28日（日）

場所：鳥取県

【変更事項】 新型コロナウイルス感染症の影響でインターネット配信に変更

参加者：23名（北海道）

■女性部

1. 第51回全国ろうあ女性集会 in 秋田

日程：2021年10月1日（金）～3日（日）

【変更事項】 新型コロナウイルス感染症拡大により事業を中止

2. 第46回全国委員会&第48回女性研修会

日 程：2022年1月22日（土）～23日（日）

【変更事項】 新型コロナウイルス感染症拡大により事業を中止
全国委員会のみ書面決議し、研修会は中止になりました。

■高齢部

1. 第33回全国ろうあ高齢者大会・スポーツ大会

日 時：2021年9月23日（木）～26日（日）

【変更事項】 新型コロナウイルス感染症拡大により事業を中止

2. 第13回全国ろうあ高齢部代表研修会

日 時：2022年2月

【変更事項】 新型コロナウイルス感染症拡大により事業を中止

法人関係事業

■事務局

理事会（役職構成）

役職名	氏名	担 当	全日ろう 評議員
理事長	山根 昭治	文化・スポーツ基金、4団体懇 聴覚障がい者情報センター運営委員	理事
副理事長	渋谷 雄幸	情報・コミ部長、4団体懇 聴覚障がい者情報センター運営委員	○
副理事長	大内 祥一	福祉・労働対策部長、4団体懇 聴覚障がい者情報センター運営委員	○
常務理事	金原 浩之	常務理事、文化・スポーツ基金、4団体懇 聴覚障がい者情報センター運営委員	○
理 事	中 和彦	事務局長、文化・スポーツ基金、4団体懇 聴覚障がい者情報センター運営委員	○議長
理 事	高嶋 正博	会計部長、派遣センター、4団体懇 聴覚障がい者情報センター運営委員	監事
理 事	橋本 由美	組織部長	○
理 事	福島 太郎	機関紙部長	○
理 事	宮内 博子	教育・文化対策部長、文化・スポーツ基金 聴覚障がい者情報センター運営委員	○

理事	熊倉 晃	スポーツ部長、文化・スポーツ基金	○
理事	長谷 和明	青年部長	
理事	佐々木柄理子	女性部長、聴覚障がい者情報センター運営委員	女性部長
理事	川口 豊	高齢部長	
理事	佐藤 義典	組織部付	
理事	野原 伸也	組織部付	
理事	工藤 努	教育・文化対策付	
理事	中川 雅敏	情報・コミ付	
理事	京野 大樹	福祉・労働対策付	○
監事	小山 輝義		○
監事	越智 誠		○

■手話言語条例

北海道の手話言語条例実施自治体 道/23市/5町/計29自治体 (2022年3月31日現在)

	地域名	条例の名称	制定日	施行日
1	北海道	北海道言語としての手話の認識の普及等に関する条例	2018年3月20日	2018年4月1日
2	石狩市	石狩市手話に関する基本条例	2013年12月16日	2014年4月1日
3	新得町	新得町手話に関する基本条例	2014年3月5日	2014年4月1日
4	鹿追町	鹿追町手話に関する基本条例	2014年9月19日	2014年10月1日
5	名寄市	名寄市みんなを結ぶ手話条例	2015年3月20日	2015年3月23日
6	登別市	登別市ぬくもりある手話条例	2015年12月18日	2016年4月1日
7	室蘭市	室蘭市みんなの心をつなぐ手話言語条例	2016年3月25日	2016年4月1日
8	帯広市	帯広市手話言語条例	2016年3月28日	2016年4月1日
9	旭川市	旭川市手話言語に関する基本条例	2016年6月17日	2016年7月1日
10	洞爺湖町	洞爺湖町手話言語条例	2016年12月13日	2017年4月1日
11	伊達市	伊達市やさしい心がかよいあう手話言語条例	2016年12月15日	2017年4月1日
12	釧路市	釧路市手話言語条例	2017年3月17日	2017年4月1日
13	苫小牧市	苫小牧市手話言語条例	2017年3月17日	2017年4月1日
14	赤平市	赤平市思いやりあふれる手話言語条例	2017年3月22日	2017年4月1日
15	札幌市	札幌市手話言語条例	2018年3月6日	2018年3月6日
16	千歳市	千歳市手話言語条例	2018年3月8日	2018年3月8日
17	小樽市	小樽市手話言語条例	2018年3月20日	2018年3月20日
18	三笠市	三笠市笑顔で心をつなぐ手話言語条例	2018年3月26日	2018年4月1日
19	岩見沢市	岩見沢市手話言語条例	2018年3月27日	2018年4月1日
20	釧路町	釧路町手話言語条例	2018年12月7日	2019年4月1日
21	江別市	江別市手話言語条例	2018年12月13日	2019年4月1日
22	豊浦町	豊浦町手と手をつなぐ手話言語条例	2019年3月5日	2019年4月1日
23	北斗市	北斗市手話言語条例	2019年3月11日	2019年4月1日
24	網走市	網走市手話言語条例	2019年3月20日	2019年4月1日
25	恵庭市	恵庭市手話言語条例	2020年3月11日	2020年4月1日

理事	宮内 博子	○	○	○	○	○	○	○	○	○
理事	熊倉 晃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
理事	長谷 和明		○	○	○	○	○	○	○	○
理事	佐々木柄理子	○	○	○	○	○	○	○	○	○
理事	川口 豊	○	欠	○	○	○	○	○	○	欠
理事	佐藤 義典	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○
理事	野原 伸也	○	○	○	○	○	欠	○	○	欠
理事	中川 雅敏	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
理事	工藤 努	○	○	○	○	○	○	○	○	○
理事	京野 大樹		○	○	○	○	○	○	○	○
理事	佐藤 尚行	○								
理事	森 恵子	○								
監事	小山 輝義	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
監事	越智 誠	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※欠は欠席

■四役会議の開催

1	2021年4月23日(金)	オンライン	2	2021年6月4日(金)	オンライン
3	2021年7月16日(金)	オンライン	4	2021年8月20日(金)	オンライン
5	2021年9月3日(金)	オンライン	6	2021年10月22日(金)	オンライン
7	2021年11月19日(金)	かでの2・7	8	2021年12月15日(水)	オンライン
9	2022年1月17日(月)	オンライン	10	2022年2月10日(木)	オンライン
11	2022年3月25日(金)	オンライン			

■4団体懇談会の開催

第1回	2021年4月24日(土)	10:00~12:00	道立道民活動センター(かでの2.7)
第2回	2021年11月20日(土)	13:00~15:00	道立道民活動センター(かでの2.7)
第3回	2022年2月12日(土)	10:00~12:00	道立道民活動センター(かでの2.7)